

南あわじ市 平成 21 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 796

事業名	都市・漁村交流促進事業補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	産業振興部	水産振興課		款	農林水産業費・6款
電話	0799 - 37 - 3013			項	水産業費・3項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務			目	水産業振興費・2目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	職__食__づくり__夢あふれ__働く場を生み出すまちづくり__			
	まちづくりの目標	ふやさんか__食づくりの担い手【農漁業】			
	施策目標	安全でおいしい地元の食材を、市民や来訪者が地元で消費できる仕組みをつくる			
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託	負担金補助	

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	対象(誰を・どのような状況の人に)	
	市民及び観光客	対象人数 12,000
	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 地元でとれた安全で新鮮な食材(農水産物等)の購入機会を提供し、味わってもらふ事により、島内外にその良さを広くPRする。	
	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 福良漁協を中心とする地場産業グループにより、市民や観光客を対象とした朝市を開催する。 地元漁業者及び出店団体を調整し、朝市の出店数を拡大するとともに、抽選会や3年とらふぐの振る舞い等、目玉イベントの開催や観光・宿泊施設での広告宣伝等の実施により、朝市利用者の増加を図った。	
	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 近年、食の安全が叫ばれている中で、安全で新鮮な地元食材等を提供するとともに地場産業の消費拡大に繋げ、かつての福良の街の賑わいを取り戻すために朝市を実施している。	
事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他 (福良漁協)	
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし	
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)	
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input checked="" type="checkbox"/> 新市から	

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	朝市の利用客数					指標単位
							人
	指標説明 (指標算出 方法等)	朝市を利用する市民・観光客の人数					
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	目標値	9,000	10,000	11,000	12,000	13,000	
	実績値	8,500	10,000	10,500			
	達成度 (%)	94.4	100.0	95.5	-	-	
目標値設定 の考え方	将来 (H28) 目標値28,000人/年に対して、各年度毎に段階目標値を設定し、利用客の増減を把握する。						
資源配分 (インプット)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	直接事業費 (千円)	0	850	799	759	721	
	補助金	0	850	799	759	721	
	財源 (千円)						
	国						
	県						
	起債						
	その他						
	一般財源[A]	0	850	799	759	721	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	359	361	335	338	338	
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	28.2	28.2	
	事業量1(事業に要した日数)	12	12	12	12	12	
事業量2(事業に要した人数)	1	1	1	1	1		
年間経費([A]+[B])	359	1,211	1,134	1,097	1,059		
「目的」対象人数1人当り経費 (円)	29.9	100.9	94.5	91.5	88.3		
経費に関する 補足説明	事業に係る平成20年度全体経費 = 1,699千円 ・経費の内訳 = 広告宣伝費1,048千円、消防品費等216千円、軽微費227千円、 用地等借上げ料208千円 ・財源の内訳 = 市補助金799千円、自主財源その他900千円 平成18年度は、1,652千円の経費を自主財源その他で賄っている。						

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
達成度	目標達成度	%	94.4	100.0	95.5	-
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) チラシやホームページ、宿泊・観光客等への宣伝効果により、朝市の利用客は年々増加傾向にある。					自己評価 (5点評価)
						3
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 安全で新鮮な食材等が手に入る事で市民や観光客の満足が得られている。四季折々の目玉商品の出品や抽選会等催し物の開催も利用客増加の要因と考えられる。毎月第4日曜のイベントとして着実に定着しつつある。					自己評価 (5点評価)
	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
効率性	事業単価	円	29.9	100.9	94.5	91.5
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 1回平均10万円足らずの運営経費に対して、1回平均約1,000人もの集客数があり、コストを考えると、その事業効果は計り知れない。					自己評価 (5点評価)
						5
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低		
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 毎月第4日曜のイベントとして地元や観光客に定着してきており、新たな観光振興事業としての役割が高い。					自己評価 (5点評価)
						4
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 市の補助金のみならず、漁協や商工会・出店者等、地元の熱意や協賛によって成り立っており、成果も着実に上がっていることから、今後も観光振興・町おこしの起爆剤としての役割が期待される。					<div data-bbox="821 1541 1388 2121" data-label="Figure"> <p>評価グラフ</p> </div>

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成22年度にできる改善・改革	平成23年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	<p>これまでも毎年、段階的に補助金を縮小してきており、将来的には補助金に頼らない自立した活動となるよう期待しているが、平成22年度は引き続き開催を支援する。</p>	<p>同左。</p>
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>町おこしに賭けるせっかくの地元の熱意を消す事になり、同時に新たな観光資源を失う事となる為、マイナスになる事はあってもプラスになる事はない。</p>	